

議会運営委員会会議記録（概要）

令和4年5月26日（木）

開 会（午前10時30分）

大館議長

本日は、議会運営に関する事項について協議をお願いします。

【議 事】

（1）議会運営に関する事項について

① 通年会期制の導入について

・ 3月定例会議の日程について

石原委員長

通年会期制の導入に関して、前回までのところで、請願の処理フローについて、公明党が持ち帰りになっていたが、お考えをお示してください。

植竹委員

前回、委員長から説明いただいたものを、会派としても請願処理フローとして行っていくことで合意が取れたので、このまま進めていただくことでよい。

石原委員長

わかりました。

次に、今日配信している資料で、議題として協議をお願いしたいところは、3月定例会議のやり方についてである。特に、一般質問について、

6、9、12月定例会議は協議してきたが、3月については、討論・採決の前なのか後なのかということや、質疑及び一般質問という形式についても、代表質問という御意見も従前からあったが、この3月についても、中身をどうしていくかという協議がまだである。このことについて、協議をお願いしたい。

お示した3月定例会議イメージ図は、2月15日に開議ということで、初日は決まっています、議案調査日、質疑及び一般質問を行い、委員会審査を経て、予算常任委員会審査、最終日は常任委員長報告・討論・採決となっている。設計の中身は、今までと同じようなイメージである。大きく違うのは、先行審議というものを想定していない。先行審議を今まで10日くらいやっていたが、通年会期制なので、先行審議という概念がそもそもないので、15日の開議以降、当初の議案について審査を進めていく形となっている。下段のところは議運の動きである。日程を協議する議会運営委員会の日からヒアリングのスタートを可能としている。通告のタイミングも、従来どおりの質疑及び一般質問と同様に設計してある。このイメージを参照しながら、3月定例会議の一般質問あるいは、ほかの日程について協議をしていきたいと思う。各会派御意見をいただければと思うが、いかがか。

村上委員

先行審議の件だが、通年会期制になると先行審議というものがなくなると、最終的に現年度の補正予算等があるが、これは通年会期制の中で

は、どこで審議するイメージになるのか。

石原委員長

補正予算の議案が出てきた時点で、臨時会議を開いて、審査しなければならぬ。

村上委員

基本的には、執行部の方で先行審議というものをなくしてもらおう。そのためには、3月定例会議の前に臨時会議を開いて議決し、その上で、3月定例会議で新年度の予算を審議する。

石原委員長

そういう審議の必要な案件が出てくれば、そのようなタイミングで臨時会議を開いて、おっしゃっていただいたように進めていく。

村上委員

補正というのは、必ず最終日に出てくるわけだから、3月定例会議の前には審議の日程も組み込んでおかなければならないということになるのではないかと。皆さんはどのようなお考えであるのか。

中村委員

以前その議論もあって、所沢市の場合は、先行審議で減額補正をかなり出される傾向にあるが、自治体によっては、全然出さないところもあるので、議案の出し方については、市長の議案の出し方にいろいろ影響が出てくる可能性があるという話があった。そうは言っても、提出される側のお考えもあるでしょうから、こちらとしては、提出されたら対応

していくという形になるという議論で落ち着いた。

村上委員

そういった議論であったことは、理解している。その出し方について、ここまで議論が進んでいたら、具体的にどうなのかというイメージをしておかないといけないと思う。毎回、先行審議分のボリュームがあるので、それは一日や二日間の臨時会議で解決していくかという話になると、3月定例会議の前に補正予算の審議を、ある程度の日程を確保しないと事実上無理なのではないかという気がしている。そこは向こうの出方次第だということだけで、通年会期制の全体を議論するというのはどうなのか。もう少し丁寧な議論をしておく必要があるのではないか。

石原委員長

臨時会議をあらかじめ、どこまで議会側が構えて準備しておくかというはあるかと思うが、今まで10日間くらいは先行審議で使っていたので、一日や二日間で済むかどうかというのは、議運を開いて、臨時会議の日程が、何日必要なのかという協議を行っていききたいと思う。

村上委員

具体的に、今までの3月定例会の中での先行審議分の扱いについての日程の確保を考えた場合に、3月定例会議が始まる前に、どのくらいのスパンの日程を考えておけばいいのか。

中村委員

制度が変われば、当然、議案の出し方も変わってくると思うので、そ

の出し方を見ないと、その後の日程をどう組むのかというのは、なかなか判断しきれない。少なくとも今までのやり方の中で、現実的に対応できるのは、多分ここまでしかお示しできないであろう。臨時会議の請求の仕方が実際に固まっているので、それに応じて、議案を出す人たちが、本会議の開催を要求するという形で備えてきているという印象である。だから、何日間必要なのかというのは、議案が出てきてから決める話であって、今ここでの準備は難しい。

村上委員

それはよく分かるが、当然、出し方の問題もあるし、いずれにしても、先行審議分について、もし定例会議の前にやろうとすれば、また手続を踏んで、臨時会議を開催してもらおうということなので、我々のイメージとしては、頭の中に捉えていた方がいいのではないかと思う。2月15日の前というと、1月1日から2月15日までの間に何らかの日程が入ってくる可能性がある。

植竹委員

今までどおりの出し方ということであるが、当初予算と補正予算を同時に2月15日に提案されてくるケースもあるわけで、出し方によっては、1週間前の議運で、3月の日程は随時変更してくる。3月定例会議イメージに示されているが、同時に出された場合においては、この2月15日以降、先行審議分の委員会開催等の日程等も、1週間前の議運で日程として決めていくというイメージでよいのか。

石原委員長

どういふ出し方かによるが、3月定例会議の日程決めは、議運の場で決めていけばよい。

城下委員

3月定例会議は先行審議の扱いはないという考え方で、今回出しているが、国も年度末にいろいろ会議をやりながら動きが出てくると思ふが、例年、最終日に補正などが出てくることある。そうなった場合には、それはその時のボリュームと内容によって、委員会付託をするのか、全体審議でやるのかというのは、その都度判断するという理解でいいのか。

石原委員長

そのとおりである。

城下委員

分かりました。委員長が3月定例会議の討論・採択のことについて、6、9、12月定例会議については、一般質問の前に討論・採決だが、3月定例会議においては、質疑及び一般質問なので、質疑及び一般質問の前に討論・採決は当然できないが、その辺はどのようなお考えなのか。先ほど討論というところも触れられていたので、例えば、質疑と一般質問を別々にやってくれば、一般質問の前に討論・採決が可能だと思うが、うちの会派は分けてやってほしいという立場だが、3月定例会議はどのように変わってくるのか。

石原委員長

現行の3月定例会のやり方は、質疑及び一般質問を試行的にやるという事で今日まで至っているが、議案の内容に抵触してしまうトラブルを避けるということもあって、通年会期制では、6、9、12月の定例会議は討論・採決の後に一般質問を行うこととしている。質疑及び一般質問については、議案の内容に入っていくということで、質疑及び一般質問という形であれば、議案質疑の中に含まれているから、議案に抵触することが発生しにくいものになっているので、ほかの議会に見られるような議案に抵触したというトラブルは抑制されていると思う。だから、3月定例会議については、討論・採決以降にしようという考え方は発生していなかったが、城下委員としては、討論・採決の後に一般質問をやりたいのか。

城下委員

今日はそこを確認したいということだ。うちの会派は、もともと質疑と一般質問をあわせて今まで2時間やれていたものが、1時間で質疑と一般質問をやるので、私たちとしては、できたら質疑は質疑、一般質問は一般質問で分けた方がいいというスタンスで来ていた。試行的にということなので、ここ何年かはやってきているが、議案を早めに議決するというような議論が、6、9、12月定例会議でやってきたので、例えば、3月定例会議はそのまま従来型で、通年会期制でもやっていくということでの提案なのか、その辺を皆さんの御意見も含めてお聞きした

い。

石原委員長

皆さんの御意見も含めてですが、案としてお示ししたのは、6、9、12月は討論・採決後に一般質問に入るので、試行的に行っている質疑及び一般質問は、6、9、12月のやり方を踏まえて、また、一般質問のやり方については、通年会期制が始まってからでも3月定例会議の議論を行うタイミングがあると思うので、そういうのを見ていただいてからでも、いろいろ動かせる。一般質問に対する議論というのはできる。

城下委員

とりあえず今の状況で通年会期制をやると、3月は先行審議がなくなるので、スケジュール的にもタイトになっていく。討論・採決は日程の最後という提案でよいか。

石原委員長

今のイメージだとそうである。

中村委員

うちの会派としては、基本的にこのやり方を試行して、まだそれほど時間がたっていないし、一般質問と議案との重複で議事進行ということは回避されているので、とりあえずこのやり方で続けていき、代表質問制導入の議論や一般質問と分けて取り上げるということも、通年会期制とは別に議論することは、とてもいいことだと思う。むしろ、いつでも本会議を開こうと思えば開けるのだから、議論することはやぶさかでは

ないと考えている。ただ、議案を議決してしまふ、当初予算が決まっ
てからすぐに一般質問するというのは、イメージしづらいという印象があ
る。そういった意味では、このやり方というのは、ベターなやり方であ
るとの印象がある。

石原委員長

質疑及び一般質問のやり方を取り入れていこうという考え方だが、よ
ろしいか。

植竹委員

それはそれでいいが、正式に3月定例会議の日程は、さっきの一般質
問の通告の締切りも同時に決めなければいけないから、ある程度のイメ
ージとして示された段階で、またそこは考えていくのか。

石原委員長

提出締切りは変わっていない。質疑及び一般質問の通告締切りは、従
来のままである。

植竹委員

3月は決まっているのか。変わっていないのか。

石原委員長

やり方は変わっていない。

城下委員

先行審議の日程が入っていない。

石原委員長

そういうことになる。

中村委員

いずれにしても、先行審議のことは、先ほど村上委員がおっしゃって
いたように、頭には入れておかなければいけない。3月定例会議の流れ
のイメージとしてはこのようになるということで、一般質問のあり方や
この制度の導入の課題というものもあるけれど、それを切り離して、通
年会期制の議論としては、とりあえず3月はこれでやるという形でいい
かと思う。

石原委員長

おっしゃっていただいたように、一般質問のあり方というのは、通年
会議制を導入してからでも議論の論点としてはあるので、大きな枠とし
て3月定例会議がこのように進んでいくというイメージとして、認識を
もっていただければと思うが、よろしいか。（委員了承）

②オンライン委員会に係るパブリックコメント手続について

石原委員長

オンライン委員会に係る委員会条例の一部改正案及び会議規則の一部
改正案に対して、御意見がなかったことを前回の議会運営委員会におい
て報告したが、意見募集期間内に提出された御意見1件が、電子メール
システムのセキュリティ処理が原因で、事務局まで到達していなかった
ことが判明した。提出のあった御意見については、期間内に到達したも
のとして取り扱うこととし、御意見に対する市議会の考え方については、

あらかじめ配信した案のとおり公表することとしてよろしいか。（委員
了承）

（２）その他

石原委員長

次回の議会運営委員会は、５月３１日（火）午後１時３０分から開催
する。

散 会（午前１０時５４分）